

プログラム名 (40字以内)	聖地熊野の歴史文化と自然を体験し、地域振興を考える		
団体名/所属	大学院人文社会系研究科/和歌山県新宮市		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	6人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	熊野古道等を歩くので、一定の脚力を備えていることが望ましい。		
活動期間	2026/8月下旬(3月中に確定予定)	主な活動予定場所	和歌山県新宮市を中心とした熊野地方
プログラム実施の目的	熊野古道をはじめとする世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」において歴史・伝統文化や自然等を体験的に学ぶとともに、諸課題を抱える地域の振興にアイデア面でのご貢献をすることを旨とする。		
具体的な内容(800字程度)	<p>熊野は、日本最古の聖地の一つとして今なお多くの人々を惹きつけ、また山岳修験の要衝の地として知られるとともに、豊かな自然環境をも誇っています。文化史にも博物学にも大きな足跡を遺した南方熊楠がこの地に生まれ出たのも偶然ではありません。加えて、地元の方々がそうした熊野の歴史と自然を真に愛し、それらの維持と発展に尽くされています。学生諸君が新たな価値観と出会うことを目的の一つとする本プログラムにとって、熊野は都会では不可能である様々な体験をするともに、地方自治体の置かれている状況を学ぶ上で、絶好の地であると思われまふ。なお、本プログラムは新宮市役所をはじめとする地元市民の方々からの全面的なバックアップを得てのプログラムとなります。</p> <p>熊野古道ないし大峯奥駈道等で活動し、古来の聖地熊野三山の歴史と自然を体験的に学ぶとともに、社寺や山伏の方々を含めた地元のみならずとの交流を計画しています。これまで、山伏やご住職からお話をうかがったり、熊野古道を地元の方々と歩いたり、伝統的な「絵解き」に挑戦したり、外来植物の除去作業を行ったりしてきています。また、行政の方々を中心となって取り組んでおられる自然環境保護や環境整備、自然災害対策、あるいは文化財保全、さらには国内外広報活動、社会教育活動等についてお話をうかがうことにより、学生諸君の視野は一層開かれるものと期待できます。例年、市長・教育長も参加されての交流会も開催され、行政の長に直接質問する機会も予定されています。また、参加者にはさらに、地域活性化の方法や国際交流の提案等といった、地元利益する課題について考察してもらおうと思ひます。自らの価値観を新たに相対化するとともに、若くて柔軟な発想力を発揮して、地域に貢献する可能性を探ります。</p>		
【総額】参加するための費用	70,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	27,000円(3泊分)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	35,000円(東京から名古屋経由新宮駅へ自由席利用の場合のみ)		
【内訳】参加するための費用(その他)	8,000円(食費、懇親会費等)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	移動のためのマイクロバスの提供や行政についての説明など、新宮市および同市教育委員会からの協力がいただける予定である。また、活動期間中に教員が視察を行なう予定でもある。なお、山で活動するため、適度な体力・脚力を備えていることが望ましい。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		